

日経産業新聞

タイで車部品成型加工

日本モリマー(大阪市)はタイで樹脂の射出成型を行う現地企業をこのほど買収した。昨年には別の企業も買収しており、9月から自動車向け精密部品の成型加工を本格的に始める。日系を中心に自動車産業が集積しており、今後も部品の需要が増えると判断した。3年後をメドにタイでの売上高を現状に比べて約7割増の50億円を目指す。

日本モリマーの海外拠点

- 森修国際貿易公司
 - 化学品電子材料
- 杭州保利泰克塑化公司
 - 樹脂原料の製造販売

国内は7拠点

台湾事務所

- 合成樹脂の企画販売

中国

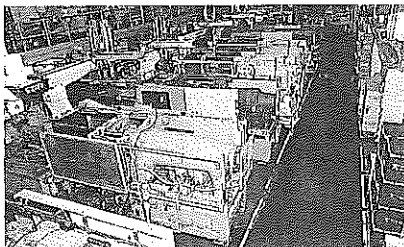
タイ

今回買収した2社

- TSモリマー(子会社2社含む)
 - 自動車部品の成型
- ムネカタ・タイ・プラスチック
 - 家電などの成型
- モリマーポリテック
 - 樹脂原料の製造販売

日本モリマー、現地企業買収 日系集積で需要増にらむ

9月から成型加工を本格的に始める(タイの工場)



電化製品向け部品の生産を行っていた「ムネカタ・タイ・プラスチック」の大半を取得し、子会社化した。昨年7月にはムネカタの隣に立地する「TIKマニユフアクチャリング」(現TSモ

リマー)を買収しており、9月にもコネクタなど自動車向け精密部品の金型製作から成型、塗装や組み立てまでを一貫してできる体制を整える。買収額はあわせて10億円となる。

日本モリマーは日系を中心に現地に拠点がある部品メーカーに製造した部品を販売する。同社は日本国内で自動車の車体などに使う樹脂素材を生産しているが、精密部品の製造は初めて。自動車では安全装置や制御装置が増え、電装部品の需要の伸びが見込めるためだ。

タイでは政治的な混乱が続いているが、「影響はほとんどないとみている」(日本モリマー)としている。

日本モリマーは198

0年に強化プラスチックの加工販売を行うメーカーとして創業。住友商事プラスチック(現在の住友商事ケミカル)と共同出資して専門商社を子会社として立ち上げ、2014年3月期の売上高は国内外合わせて300億円を超える。自動車のシヤシーや住宅の浴槽などに使う不飽和ポリエステルシートの成型では国内シェアでトップを争う。商社としてはガラス繊維の取り扱いでは国内大手だ。

タイのほか、中国や台湾など海外での製造販売拠点は計6カ所。タイでは05年からモーターの外装素材などに使う熱硬化性樹脂を製造・加工しているが、管理部門のコスト削減のため年内にも拠点の集約を行う見通し。

タイでの売上高は30億円程度だが買収を通じて事業拡大を目指す。

タイでの売上高は30億円程度だが買収を通じて事業拡大を目指す。
(鈴木卓郎)